

「平成25年度 第2回県政モニターアンケート調査」 調査結果（概要）

県政の課題について、県政モニターの皆様のお考えをお聞きし、県政運営の参考とするために「県政モニターアンケート調査」を行いました。

〔調査内容〕 次の4項目について13問を設定
 ①望ましい県の行政組織のあり方について
 ②子どもの性被害の防止について
 ③道路整備について
 ④県産農産物の認知度・購入意識・食生活について

〔調査方法〕 ●調査地域 : 長野県全域
 ●調査対象者 : 県政モニター 1,219人
 ●調査方法 : 郵送及びインターネット
 ●調査期間 : 平成25年6月7日(金)～6月17日(月)

〔回収状況〕 回収数 822人 (回収率 67.4%)

回答者の内訳

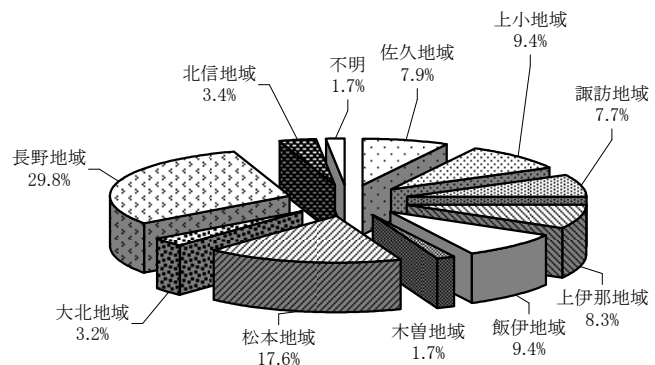
【男女別と年代別】

	総 数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総 数	822	14	55	128	186	256	169	14
	100.0%	1.7%	6.7%	15.6%	22.6%	31.1%	20.6%	1.7%
男 性	510	10	28	77	106	172	117	—
	62.0%	1.2%	3.4%	9.4%	12.9%	20.9%	14.2%	—
女 性	298	4	27	51	80	84	52	—
	36.3%	0.5%	3.3%	6.2%	9.7%	10.2%	6.3%	—
不明	14	—	—	—	—	—	—	14
	1.7%	—	—	—	—	—	—	1.7%

※ 割合(%)はすべて、総数(n=822)に対する割合

【地域別】

地 域	調査対象者数	回答者数	割 合
佐久地域	103	65	7.9%
上小地域	109	77	9.4%
諏訪地域	91	63	7.7%
上伊那地域	113	68	8.3%
飯伊地域	112	77	9.4%
木曽地域	17	14	1.7%
松本地域	223	145	17.6%
大北地域	35	26	3.2%
長野地域	367	245	29.8%
北信地域	49	28	3.4%
不 明	—	14	1.7%
合 計	1,219	822	100.0%



1 望ましい県の行政組織のあり方について

問1 今後力を入れていくべき行政分野

■「高齢者福祉や医療の充実」が約4割

①「高齢者福祉や医療の充実」	41.7 %
②「防災・災害に強い県土づくり」	39.4 %
③「子育て支援・少子化対策」	36.9 %
④「地域の活性化」	30.9 %
⑤「雇用対策」	30.8 %
ほか（複数回答）	

問2 組織運営の留意点

■「組織の見直し（スリム化、重点化）」が4割超

①「組織の見直し（スリム化、重点化）」	42.9 %
②「事務事業の見直し・効率化」	32.0 %
③「県民・企業等との協働の推進」	31.5 %
④「職員のサービス意識の向上」	29.2 %
⑤「民間委託の拡大」	24.2 %
ほか（複数回答）	

問3 組織についての意見・提案

■自由意見

○課室名をわかりやすくするべき	などの意見が寄せられた。
○総合案内窓口があるとよい	
○市町村との役割分担をはっきりするべき	
○広報誌に組織図や窓口一覧表などを載せたらどうか	

2 子どもの性被害の防止について

問4 長野県の子どもの性被害の現状

■「以前より悪化している」と「深刻な状況になっている」を合わせて約5割

①「以前より悪化している」	37.7 %	(単数回答)
②「分からない」	25.8 %	
③「以前と変わりはない」	20.7 %	
④「深刻な状況になっている」	9.9 %	
⑤「以前より改善している」	5.0 %	

問5 子どもの性被害が悪化又は深刻化している原因

■「インターネット・スマートフォン等の発展・普及」が8割超

①「インターネット・スマートフォン等の発展・普及」	82.6 %
②「大人の道徳観の低下」	78.5 %
③「家庭や地域の教育力の低下」	58.8 %
④「子どもの道徳観の低下」	36.3 %
⑤「社会の環境変化によるストレスの増加」	35.0 %
ほか（複数回答）	

（問4で「以前より悪化している」、「深刻な状況になっている」と答えた方）

問6 子どもの健全育成（性被害の防止等）の取組みである「県民総ぐるみの運動」

■「知らなかった」が約5割

①「知らなかった」	48.4 %
②「聞いたことはあるが詳しい活動内容は知らなかった」	41.7 %
③「知っていた」	8.9 %
（単数回答）	

問7 今後、子どもを性被害から守るために必要な対応

■「これまでの取組み（県民総ぐるみの運動）に加え、新たな対策を講じる」が5割超

①「これまでの取組み（県民総ぐるみの運動）に加え、新たな対策を講じる」	54.3 %
②「これまでの取組み（県民総ぐるみの運動）を抜本的に見直す」	20.2 %
③「これまでの取組み（県民総ぐるみの運動）を続ける」	19.5 %
④「分からない」	3.6 %
（単数回答）	

（問6で「知っていた」、「聞いたことはあるが詳しい活動内容は知らなかった」と答えた方）

問8 今後強化すべき又は新たに導入すべきと考える性被害の防止策

■「インターネットやスマートフォン等の適切な使用方法の子どもへの教育」が約6割

①「インターネットやスマートフォン等の適切な使用方法の子どもへの教育」	60.8 %
②「教育現場での性に関する指導（性教育）の充実」	52.8 %
③「子どもと保護者への啓発」	47.8 %
④「道徳教育の充実」	45.7 %
⑤「家庭や地域の教育力の再生」	40.9 %
（複数回答）	

3 道路整備について

問9 今後優先して整備すべき道路

■「通勤や買い物などの生活道路」が6割超

① 通勤や買い物などの生活道路	63.4 %
② いくつかの市町村を結ぶ幹線道路	54.6 %
③ 市街地の道路	31.0 %
④ 山間地の道路	29.0 %
⑤ 観光地に通じる道路	27.9 %
ほか（複数回答）	

問10 日常利用している県内の道路の、優先的に進めるべき対策

■「沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理」が約6割

① 沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理	62.0 %
② 歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善	50.0 %
③ すれちがいしやすしたり、急カーブ・急勾配を減らす	36.3 %
④ 交通渋滞をなくす	29.4 %
⑤ 地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保	27.9 %
ほか（複数回答）	

4 県産農産物の認知度・購入意識・食生活について

問11 信州オリジナル食材等の認知度

■「りんご：シナノゴールド」、「りんご：シナノスイート」は約9割、「信州サーモン」は9割弱が認知、いずれも前年度より増加。「おいしい信州ふーど（風土）」は15ポイント以上認知度が増加。

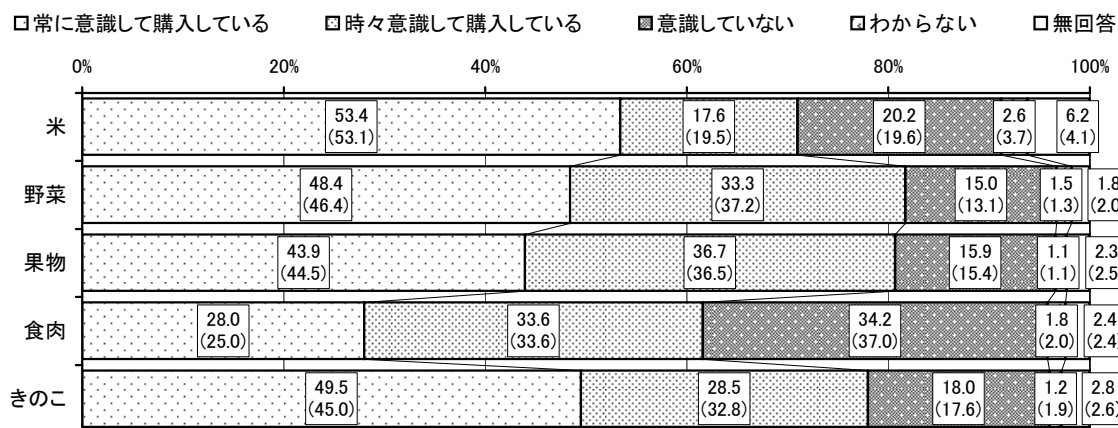
① 「りんご：シナノゴールド」	90.0 %	(88.9 %)
② 「りんご：シナノスイート」	87.8 %	(84.6 %)
③ 「信州サーモン」	86.9 %	(82.1 %)
ほか（単数回答）		

【参考】「おいしい信州ふーど（風土）」 40.3 % (24.2 %)

※（ ）内数値は、平成24年度第1回県政モニターアンケート調査数値

問12 長野県産又は地場産の購入意識

■米・野菜・果物・きのこは7割以上が意識して購入。前年度に続き高い水準で推移。



※（ ）内数値は、平成24年度第1回県政モニターアンケート調査数値（単数回答）

問13 食生活上の実践度

■「ほとんどできている」と「おおむねできている」を合わせるとすべての項目で約8割以上と前年度に続き高い水準で推移。

